

1級電気工事(実地試験)出題内容 (平成30年度)

出題数	必要解答数
5問	5問

※記述式、全問必須

問題 1	<p>受験者が経験した電気工事(完成済みの物件)の内容を記述する問題であり、ここ数年の傾向として3問出題されています。</p>
	<p>1-1 経験した工事のなかで、施工管理上の問題が発生、または発生が予想された工事についての概要を記述する問題で、施工管理のテーマとしては「工程管理」または「安全管理」等が主に指定されています。</p>
	<p>1-2 上記の工事において施工管理上で特に留意した事項を2項目記述し、それぞれの理由と実施した対策を記述する問題で、施工管理のテーマとしては「工程管理」または「安全管理」等が主に指定されています。</p>
	<p>1-3 上記に限らず現場経験において施工管理上の問題発生が予測された作業内容、問題回避の為に特に留意した事項、その理由等を具体的に記述する問題で、施工管理のテーマとしては「工程管理」または「安全管理」等が主に指定されていますが、平成19年度以降では「品質管理」に関する問題が隔年で出題されています。</p>
問題 2	<p>電気工事に関する作業を4～6項目の中から2項目選択し、それぞれについて施工管理上必要な対策を具体的に記述する問題で、施工管理のテーマとしては「施工計画」または「品質管理」等が主に指定されています。</p>
問題 3	<p>ネットワーク工程表についての計算問題で、所要工期、フリーフロート等を求める問題等が出題されています。</p>
問題 4	<p>電気工事に関する用語を12項目から4項目選択し、技術的な内容をそれぞれについて2つ記述する問題です。 実際の電気工事に使用される機材名及び現場技術者として必要な電気用語の知識を問われる問題ですので、電気設備等の項目を念入りに学習し、更に理解を深めたい場合には学科試験の学習に使用したテキストで電気用語や機材名の内容を復習してください。</p>
問題 5	<p>法規に関する問題で、「建設業法」に関するものが主流でしたが、23年度以降は「電気事業法」と併せて出題されるパターンも増えています。 近年は条文の穴埋め方式だけでなく、法令に定められている事項の記述および意見記述等、出題パターンが変化しているので注意が必要です。</p>